

2026 年度「教員の民間企業研修」を実施

JCOM 株式会社(J:COM、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岩木 陽一)は、2026 年 8 月 19 日および 20 日の 2 日間、一般財団法人 経済広報センターが主催する「教員の民間企業研修」に参画し、東京都町田市から 17 名の教員を受け入れました。本研修は、教員が民間企業の考え方や取り組みを学び、教育現場で役立てることを目的に、1983 年から実施されています。



＜ショート動画の制作体験＞



＜スタジオでのレポーター、カメラマン体験＞

J:COM は、地域密着型メディアとしての情報発信に加え、安心・安全な街づくりや次世代のチャレンジ支援に取り組んでいます。本研修への参画は今年度で 3 回目となり、教員の皆さまに当社の取り組みを直接体験いただくことで、企業活動への理解を深めるとともに、教育現場における新たな気づきや学びにつながる機会を提供しています。

研修 1 日目は、縦型ショート動画の制作体験やデータサイエンティストの思考力を学ぶワークショップを実施しました。ショート動画制作では、企画・撮影・編集までの一連の工程を通じて「短く、分かりやすく伝える力」を学ぶとともに、学校現場でも活用できる情報発信の手法を体験しました。また、データ活用事例を題材としたワークショップでは、課題の発見から仮説立案、改善につなげる思考プロセスを学びました。

2 日目には「学校の未来を考える DX セッション」を実施し、学校現場における児童の安心・安全の確保と、教員の業務負担軽減・働き方改革に向けた課題について意見を交わしながら、ICT や DX の活用による解決の可能性について議論しました。

参加者からは「リーダーシップとマネジメントは、クラス運営・学年運営に生かしていける内容だった」「ジェイコムハートのダイバーシティ人財受け入れ体制を進路指導に役立てたい」「番組制作と授業づくりは共通点が多いことに気付いた。チームワークが鍛えられ、他校の先生との横のつながりも深まった」などの感想が寄せられました。

■研修概要

日付:2026 年 8 月 19 日(水)および 20 日(木)の 2 日間

時間:9 時から 17 時

場所:本社および、番組制作スタジオ(横浜)

■J:COM の研修プログラム

1 日目	2 日目
・J:COM について ・リーダーシップとマネジメント ・ジェイコムハート ダイバーシティ人財 ・伝える力を学ぶ! 縦型ショート動画 制作体験 WS ・社会とつながるデータの力 教室で育てる「課題解決の力」	・SNS・ネット利用実態と子どものデジタル自律力を高める大人のアイデアワークショップ ・学校の未来を考える DX セッション ・地域メディアとしての役割と番組制作フロー・番組制作体験

J:COM は、ブランドメッセージ「あたらしいを、あたりまえに」を掲げ、重要課題(マテリアリティ)に紐づく「次世代のチャレンジ支援」の一環として、「教育支援」をテーマに、これからも地域に貢献する活動を積極的に展開してまいります。*当社のこれまでの「次世代のチャレンジ支援」については[こちら](#)

■レポート

1日目 午前



●J:COM について

J:COM の事業とサステナビリティ経営に取り組む背景や考え方について紹介。「震災アーカイブ」や DE&I の取り組みを通じて、事業活動と社会課題への対応についてお伝えしました。

●リーダーシップとマネジメント

変化の激しい時代に求められる組織づくりをテーマに、リーダーとマネージャーそれぞれの役割について学びました。グループワークを通じて、人の成長を支える関わり方や、主体性を引き出すマネジメントの考え方への理解を深めました。

●ジェイコムハート ダイバーシティ人財

特例子会社ジェイコムハートの取り組みを紹介。障がいを持ちながら管理職として活躍する社員の講演を通じて、多様な人財が能力を発揮できる職場づくりや、一人ひとりの特性を生かす働き方について学びました。

1日目 午後



●伝える力を学ぶ！縦型ショート動画 制作体験ワークショップ

J:COM のグループ会社として動画制作・映像企画を行うブルークスが講師を担当。参加教員自身が企画・撮影・編集を行い、30 秒のショート動画制作体験を通じて SNS 時代に求められる「伝える力」を実践的に学びました。

●社会とつながるデータの力 ～教室で育てる「課題解決の力」～

J:COM の実際のデータ活用事例を題材に、学校教育との共通点も交えながら、データを用いて課題を発見し、仮説を立て、改善につなげるデータサイエンティストの思考プロセスを体験しました。

2日目 午前



●SNS・ネット利用実態と子どものデジタル自律力を高める大人のアイデアワークショップ

SNS 利用の実態やコミュニケーショントラブルの事例をもとに、グループワークを実施。写真・動画投稿時の注意点や個人情報保護について議論し、子どものデジタル自律力を育むための大人の関わり方を学びました。

●学校の未来を考える DX セッション

学校現場が抱える安心・安全の課題や教員の業務負担などをテーマに、グループワークや事例紹介を通じて、学校現場の課題を整理し、DX や ICT 活用による解決のヒントを議論しました。

2日目 午後



●地域メディアとしての役割と番組制作フロー・番組制作体験

ニュース番組制作の工程や各役割について説明した後、中継レポーター、カメラマン、アナウンサー、スイッチャーを体験。最後に本番さながらのミニ番組制作に挑戦しました。

J:COM のサステナビリティ

J:COMでは、事業活動を通じたサステナビリティ経営を推進しています。お客さまの豊かな「暮らし」を支える企業として、持続的な「地域社会」へ貢献を行い、その土台である「地球環境」と関わるすべての「人」を対象として、4つのマテリアリティと、さらに具体化した12のサブマテリアリティを2023年度に再設定しました。

<本事業と関連するマテリアリティ>

マテリアリティ:「安心安全で持続可能な地域社会への貢献」

サブマテリアリティ:「地域社会との共創」、「次世代のチャレンジ支援」



地域とともに歩む企業として、人と人、人とコミュニティをつなぎ、地域社会が抱える課題をともに解決していきます。誰もが安心安全に暮らせる街づくりや、次世代支援をはじめ地域の教育・文化の醸成に貢献し、未来世代へ持続可能な社会をつないでいきます。